

今こそ、子どもたちにインクルーシブ教育と包括的性教育が必要！

子どもが性暴力に巻き込まれる事件が相次ぎ、教員や子どもに関わる大人、そして子どもも加害者であるケースも見られます。2026年12月25日から「日本版DBS」と呼ばれる「子ども性暴力防止法」が開始されますが、性被害を食い止める効果は限定的だと推測されています。その理由は、性に關する日本における教育や認識が大きく立ち遅れているからです。国際標準では、包括的性教育により人権・ジェンダー・人間関係・心身の健康までを体系的に学ぶことにより、性暴力やいじめの予防、望まない妊娠の減少、自己肯定感の向上、健康的な人間関係の形成ができることが実証されています。日本では、エイズが知られるようになった2000年前後に性教育の盛り上がりがありましたが、2003年の東京都立七生養護学校での性教育に対する不当なバッシング(※注)で、世界標準から20年遅れたと言われています。



指導要領では「受精・避妊などは扱わない」という歯止め規定があるため、「早くから、段階的に、現実的に」といった教育は行われず、健康の観点からのリプロダクティブ・ヘルス/ライツや子どもの権利の観点からのアプローチが欠けています。「歯止め規定」のもと「プライベートゾーン」などを断片的、一方的に教えるだけでは、怖いことばかりが強調され偏った認識になりかねません。本来、性は相手のことを大切に思い、命を繋ぐ素晴らしい営みであること、また「同意」なくしては成り立たないということを、人権の観点から、年齢に応じた段階的に体験的に学ぶことが大切です。包括的性教育では、ジェンダー平等や多様性といった人権への認識が非常に重要ですが、これは、多様な人が共に生きるインクルーシブな社会という概念なしには成り立ちません。今を生きる子どもたちは、十分に柔軟な存在です。これからの社会を築く主体として育つ子どもたちにも、今こそ、インクルーシブ教育と包括的性教育が必要です。

(※注)当時の石原都知事をはじめとする一部政治家の不当介入があり教員数名が異動や厳重注意となったが、教員側が都教委の突然の立ち入り調査などを不当として訴え、2009年東京高裁で勝訴。

Inagi 子どもの声からはじめよう！プロジェクト



今年も参加します。

稲城「手づくり市民まつり」5月5日
城山公園子ども広場(芝生広場)10時~15時半

★今年も+laugh(アンドラフ)さんの「プレーカー」が来てくれます！(11時~15時まで)



★子ども相談員が“お悩み”うかがいます。アドバイスはできませんが…気が楽になるかも…

村上洋子 と おしゃべりタイム

日時:5月10日(日) 14:00~15:00

稲城ネット事務所(稲城駅近く、百村 1608-3 サンコーポ 202)

議会の報告も致します。どうぞご参加ください。

♥女性の困り事相談お受けします。

毎月第二土曜日の午後 13 時より

6月13日 / 7月11日 / 8月8日 / 9月12日

10月10日 / 11月14日 / 12月12日

お問い合わせ・お申し込みは

☎042-379-2435 ✉inagi@seikatsusha.net

女性と政治と未来ゼミ

WOMEN, POLITICS, AND THE FUTURE SEMINAR PROGRAM

2026 (5月~7月)

01.

生き方を変えよう！くらしと政治を身近にした50年
5月16日(土) 10時~12時

生活者ネットワークのはじまりから現在まで
受講者自己紹介 ワークショップ



みんなで社会を変える—政治は生活の道具

5月30日(土) 10時~12時

活動報告—関心のある身近なことから調査活動、そして質問へ
事例報告1「包括的性教育」
事例報告2「ゲノム編集食品の表示を求める」



02.

03.

自治体の法律一条例 市議会・区議会・都議会

6月13日(土) 10時~12時

条例ってなあに
事例報告1 小金井市子どもの権利に関する条例
事例報告2 東京都子ども基本条例



あなたの解決したいこと？それって政治

6月27日(土) 10時~12時

身近に問題となっていること、地域に必要なと思うものがありますか？
グループに分かれてワークショップ

04.

05.

地域に必要なものをつくろう

—市民活動から議会または行政を動かす

7月11日(土) 10時~12時

第4回でた問題をどう解決していくか—活動、そして議会へ
事例報告1 冒険遊び場 プレーパーク 不登校
事例報告2 生活クラブ運動グループ・・・地域協議会



— 政治を変えよう —

7月25日(土) 10時~12時

未来ゼミを受講して(意見表明、私の主張)

06.

☆6回の講座のほか、希望者に6月議会傍聴のご案内をします。

【対象】18歳~50歳代

【会場】生活クラブ クラブ館(世田谷区経堂)

主催:東京・生活者ネットワーク

後援:生活クラブ社会的連帯経済コネクト機構

お問い合わせ・お申し込みは

稲城・生活者ネットワーク 042-379-2435

村上洋子 いきいきレポート



2026年度 当初予算が決まりました 〈3月議会〉

一般会計予算は477億 6,100万円、今年度も過去最高を更新。

●こども誰でも通園制度4,535万円 ●マイナンバーカードセンターの開設8,273万円 など国の特定財源(前年度比 2.5%増)により実施される事業が多くありますが、市税など一般財源は前年度比 5.1%の増と堅調で、市独自の施策も注目されます。

村上洋子の注目ポイント

■市立病院の再生！・・・皆さんは市立病院があることをどう受け止めていますか？

今年度の稲城市の予算の重要なポイントは、市立病院の経営改革です。

病院経営、特に公立病院はどこも赤字で存続のためには診療単価の見直しなど国の施策が不可欠です。

稲城市立病院はコロナの後2023年4月から「稲城市市立病院経営強化プラン」による経営改善に取り組んで来ましたが、思うように利用者が戻らず累積赤字が15億ほどに。そのため2025年10月にプランを修正し、毎年約1億円づつ15年かけて赤字解消していくなど様々な改革プランを実施します。2026年度の主な改革ポイントは

- 紹介状の無い初診料を7000円から元の2600円に戻します
- 外来診療を午後も行います
- 稲城駅から無料送迎ワゴン車を市役所経由で走らせます 1,729万円
- 6階の入院病棟を閉じ、病床数を圧縮して人員の効率化を図ります

(入院受付の科は減らしません)

など、病院は頑張っていく意気込みです。



市立病院を市民の皆さまはどう思っているのでしょうか？

私は公立病院のない隣町からの転入者ですが、特にコロナの時や、夜間救急、夫が腕を骨折した時など市立病院があって良かった！と感じました。

近隣の日野市や町田市で公立病院も全て赤字です。病院経営はどこも苦しく、美容系以外はほとんどが赤字経営です。

コロナの時はあんなに頑張ってくれて、高齢者施設や子ども施設で集団感染があっても、市立病院でなんとか受け入れてもらった安心感、入院費の事や、在宅に戻る時も市の福祉と繋がっている安心感があります。

これからも病院を持ち続けるかどうかは市民の判断にかかっています。

利用して、みんなで意見を伝え、愛される市立病院であり続けるよう願っています。

■子ども・子育て支援金を社会保険料で徴収することに反対しました

子ども・子育て支援政策を国民全員で支えるという事に反対しているわけではありませんが、そもそも目的が違うのに社会保険料で徴収するのは、益々わかりにくくなります。特に国保の応能負担増など格差が大きくなるため、国民健康保険と後期高齢者医療の予算に反対、それを前提とした一般会計にも反対しましたが予算は全て提案通り可決されました。

■教育・福祉関連

稲城第五中学校でのチャレンジクラス開設(不登校対応)や城山小学校でのサイエンス特例校開設(理科教育の充実)、順番待ちが課題となっていた教育相談の一部を外部委託、また、発達支援センターの相談支援体制の充実など沢山の新しい施策があります。

4月から「こども誰でも通園制度」が本格スタート、一方で「共同親権」が導入され、12月から「日本版DBS」も始まります。子どもを取り巻く環境が大きく変わりますので、しっかりと検証していかなければなりません。

■その他

- 認知症高齢者グループホームの整備1億5,048万円
- 遠隔手話通訳サービス事業 284万7千円
- 災害用トイレカー整備事業 935万6千円
- 鉄道駅ホームドア整備事業補助金(稲城駅)2,500万円
- 稲城市制施行55周年記念事業

(相馬野馬追出張公演787万6千円、全国将棋サミット 2026 及びいなぎ将棋まつり791万4千円、オリジナルナンバープレートの作成 182万円)



2025年12月議会 村上洋子の一般質問



- 1 太陽光パネル等の廃棄処分やリサイクルについて
- 2 稲城市立病院で「美味しい病院食」を推進することについて
- 3 多様な性を認め合う施策の推進について
- 4 子どもの権利に関する施策の推進について

2026年3月議会 村上洋子の一般質問



- 1 介護現場におけるハラスメント防止対策について
- 2 保育所等の職員による虐待に関する通報義務等について
- 3 こども性暴力防止法施行について

戦争と平和の記憶 ⑩

第二次世界大戦で私の両親が経験した戦争の話を⑨話まで書いてきましたが、今まさに進行している世界の戦争を止められないことが胸を締めつけます。

戦争が起これないように、未然に防ぐことができないと書いてきました。他にどんな行動をすれば戦争を止められるのか？

これを読んでくださっている方も、きつと同じ思いでしょう。

ビジネスのように戦争を仕掛けるトランプ大統領は、戦争の本質が「資源」や「経済的利益」であること、をわかりやすく見せています。これまでの指導者が戦争を「やむを得ない選択」というように見せかけていた嘘を暴いて見せています。その上、自分をキリストになぞらえて「救世主」のように思っているような方が相応しいと思います。

ローマ法王をはじめ、他国の指導者は「戦争に反対する」態度をはっきりと示し始めています。日本もそうすべきだと思いませんか？

アフガニスタンで住民の支援をしていた医師の中村哲さんの活動に、現地の人は「耕せる農地があり食べるものがあれば兵士にはならない」と語っていました。

ウクライナの最前線で戦っているやはり医師だった物静かなその青年は、「ウクライナも核兵器を持つべきでは？」と問われて「核兵器を使ったら敵も味方もたくさん死んで、その先にどんな未来があるんだ」と静かに語りました。

今、日本人はそれぞれが自分のやり方で意見表明すべきではないでしょうか。

私は子どもたちに聞かれた時に、きちんと答えようと思います。

「私は戦争は嫌だから戦争を止めるために行動しよう」と。

(次回に続く)

